

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

にじいろ保育園釜利谷

横浜市金沢区釜利谷東 2-15-8

運営主体:株式会社 サクセスアカデミー

| | |
|--------------------|-----------|
| 実施概要 | 1 ページ |
| 総合評価 (評価結果についての講評) | 2～3 ページ |
| 評価領域ごとの特記事項 | 4～5 ページ |
| 分類別評価結果 | 6～16 ページ |
| 利用者家族アンケート分析・集計結果 | 17～23 ページ |
| 利用者本人調査分析 | 24～25 ページ |
| 事業者コメント | 26 ページ |

公表日: 2012年3月5日

実施機関: 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

| | | | |
|-----------------|----------------------|----------|------|
| 事業所名 | にじいろ釜利谷保育園 | | |
| 事業所への 報告書提出日 | 2012年2月7日 | 評価に要した期間 | 5ヶ月間 |
| 評価機関 | 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま | | |

評価方法

| | |
|---|---|
| <p>1、自己評価</p> <p>実施期間 2011年9月～11月15日</p> | <p>職員会議で、趣旨を常勤職員に説明した。パート会議でもパート職員にも周知した。</p> <p>全職員が各自記入したものを、各クラス会議を開き、意見交換をしながら、1項目ずつ確認した。</p> <p>クラスでまとめたものを全体で再確認し、さらに第三者評価の係と園長、事業担当で協議・合議してまとめた。</p> |
| <p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間 2011年10月25日～11月7日</p> | <p>全園児の保護者(69世帯)に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。なお、外国につながる保護者の個別の状況に合わせて、日本語以外の言語でもアンケート用紙を作成した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p> |
| <p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 2011年12月13日 第2日 2011年12月15日</p> | <p>[第1日]</p> <p>午前:各クラスで保育観察。 昼食:幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後:書類調査。園長・主任・運営法人本部職員に面接調査。 非常勤職員1名に面接調査</p> <p>[第2日]</p> <p>午前:朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。 昼食:幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後:各クラス担任保育士6名、看護師1名、栄養士1名、主任に個別に面接調査。 その後、園長・主任・運営法人本部職員に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。</p> |
| <p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 2011年12月13日 第2日 2011年12月15日</p> | <p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。</p> <p>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p> |

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

にじいる釜利谷保育園は、京浜急行「金沢文庫」駅から歩いて4分ほどの、大きな道路に面し、周りには商業ビルやオフィスビルが建ち並ぶ地域にあります。周辺には比較的公園が多く、子どもたちの散歩の場所となっています。

開設は2009年（平成21年）4月1日で、運営法人は株式会社サクセスアカデミーです。運営法人は、保育園・学童クラブ・児童館の運営、病院・企業・大学内の保育受託サービス、保育施設運営のコンサルティングサービスを、首都圏を中心に手広く展開しています。

開園時間は、平日は午前7時～午後8時、土曜日は午前7時～午後6時です（延長時間を含む）。定員は81名です。

鉄筋3階建ての園舎は、もともと別の企業の施設（遊戯施設）であった建物を改装して用いています。檜の床、ロッカー等施設全体が木のぬくもりで温かな雰囲気が漂う空間を作っています。半地下を1階としており、2階部分と共に保育室等に充てています。園庭はありませんが、3階の一部に人工芝を敷き詰めて遊べるスペースとして確保し、夏には水遊び、プール遊びができます。半地下となっている1階部分にも窓を多くとり、採光に工夫を凝らしています。エントランスには、季節の野菜を育て、収穫しています。季節や自然を大切に作る心を育てると同時に食育にもつなげています。

保育理念は、1.陽だまりのようなあたたかい保育園、2.地域と共に育つ保育園、3.子どもと共に輝いていける保育園、であり、保育目標は「自然を愛し、心身ともに健康な子ども」「意欲と根気のある子ども」「仲間と関わり人を思いやれる心」「自己表現をできる子ども」「想像し考えて行動できる子ども」「基本的な習慣や態度を身につけた子ども」となっています。

高く評価できる点

1、子どもたちの自主性・主体性を重んじた保育が行われています

保育士は子どもたちの主体性を重んじた保育を実践しています。このことは、同時に自由な発想や表現を育てる保育にもつながっています。

幼児クラスでは、子どもたちが、朝一番に歌う曲を相談して決めたり、あるいは体を動かす運動のメニューも子どもたちで決めています。また、公園で遊ぶときのゲームでも、子どもたちにゲームのメニューを提示し、その中から選んで遊んでいました。こうしたゲームに参加することは強制されることはなく、自分たちで工夫した遊びをすることも自由で、子どもたちはのびのびと創造的でしかも主体的な行動ができるような保育が行われています。

3、4、5歳児は合同保育がなされており、そこでは、5歳児がリーダーシップを発揮して、3歳児、4歳児の面倒を見ることがしばしば見られます。たとえば公園で3歳児の女児が、リレーでタッチしてくれないとベソをかき始めたところ、5歳児の女児2人がだっこして慰めてあげて、3歳児は泣き止んでいる姿が観察されました。このように、縦割り保育の中で、自立性や主体性が育っている様子が見られます。

2、保護者との信頼関係の構築に努めています

園と保護者の関係は、園からの一方向性の情報提供になりがちですが、当園は保護者との相互コミュニケーションを大切にしている点が高く評価されます。

入園時の保護者との個別面接では、配慮を要する子どもや、発達に課題のある子どもについては、保護者と十分話し合いを持って、園での対処の方法を決めています。保護者との個人面談は4月と5月にかけて行われており、すべての園児が対象となっています。さらに、各クラスの懇談会も6月に行われており、双方向のコミュニケーションの場となっています。また、懇談会の折には、保護者アンケートも行われています。そこでは、園に対する要望や子どもに関する相談事などが自由に記入できるようになっています。また、アンケートは運動会などのイベントが催されたときにも行われており、保護者からの意見や要望を園の運営に活かそうとする姿勢がみられます。

さらに、各クラスの代表の保護者と地域の代表および園長・主任が参加する運営委員会でも、園の方針や決定についての保護者からの意見を述べる機会が確保されています。このように、保護者とのパイプは、保育園から保護者への一方向ではなく、保護者から保育園への情報のフィードバックも行われている双方向型の取り組みとなっています。

こうして、保護者とのコミュニケーションを密にすることによって、保護者の信頼関係が築かれています。その結果、アンケート調査において、高い回収率と保育園に対する高い満足度が得られました。

3、保育士等の研修やレベルアップに熱心に取り組んでいます

当園は、職員の研修やレベルアップにきわめて熱心です。4月の年度初めには、各研修機関や運営法人から年間の研修案内を取り寄せ、職員が希望するコースや内容を選択し、各自の年間計画を立てて、園長や主任が園の目標に沿っているかをチェックしています。研修費用は基本的に園が負担し、なおかつ勤務時間内で研修参加ができるようになっています。

研修した内容は、きちんと研修報告書にまとめられ、朝礼などで報告しています。さらに、報告内容は非常勤職員にも伝えられるのと同時に、研修報告書は誰でも閲覧できるようになっており、研修内容を職員全員のレベルアップの資源として位置づけています。

外部の研修機関の研修だけでなく、内部の自発的な研修にもきわめて熱心な取り組みがなされています。今年度は「人権を守る保育」「遊び」「リズム研修」をテーマとして、各年齢の保育士グループで研究し、その成果を発表会で報告しています。

園内研修の活動内容をまとめるフォーマットも作成されており、活動内容、対象年齢、配慮、準備、内容、反省・考察と体系づけて報告されています。同時に、写真や図版が多く取り入れられ、分かりやすさに配慮されています。

研修については、運営法人も熱心であり、系列の保育園の園長、主任、保育歴1年目などと、職員のキャリアや段階に応じて、それぞれのレベルアップに配慮された研修計画が年度の初めに提示され、職員の能力・技術のレベルアップに熱心に取り組んでいます。

評価領域ごとの特記事項

このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

1、人権の尊重

- ・ 保育の理念は、1.陽だまりのようなあたたかい保育園、2.地域と共に育つ保育園、3.子どもと共に輝いていける保育園、となっています。保育目標は「自然を愛し、心身ともに健康な子ども」「意欲と根気のある子ども」「仲間との関わり人を思いやれる心」「自己表現をできる子ども」「想像し考えて行動できる子ども」「基本的な習慣や態度をみにつけた子ども」としており、子どもの最善の利益を第一義にしています。
- ・ 「業務マニュアル」に“保育にあたっていつも心にとめておいてほしいこと”として子どもの人格尊重に関するきめ細かな項目をおいています。このマニュアルは全職員が携帯し、日々の保育の基本となっています。
- ・ 守秘義務については、職員全員が入社時に研修を受け、機密保持誓約書を提出しています。ボランティア・実習生に対しても活動前に説明をし、守秘義務の誓約書を提出してもらってから保育に入るシステムになっています。
- ・ 運営法人が作成した「虐待対応マニュアル・対応フロー」を全保育士が把握し、必要に応じて視診や食事の食べ方等を入念に観察するように心がけています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・ 園内は掃除が行き届き、常に清潔が保たれています。0歳児の部屋は専用の掃除機、ぞうきんを使用して、特に清潔さに気をつけています。また室温度計、湿度計をみて、エアコンを調整し、温度、湿度が適切に管理されています。
- ・ 子どもの自由な発想や表現を育てることを、園の大きな目標としています。乳児期には、五感を通して「感じる」ことから始め、成長に従って「表現する」ことへとすすめています。保育士は子どもたちの興味を見逃さず、遊びや製作へとつなげる保育をしています。
- ・ 幼児クラスにおいては、行事などを決めるときに、子どもたちから意見を出してもらったり、相談してもらっており、その決定を尊重しています。乳児においては、子どもの動きをよく観察し、その意向をくみ上げており、子どもたちの自主性を重んじています。
- ・ 週間計画などでは、週の振り返りを行って次の週の計画作成に活かしており、計画に柔軟性を持たせています。
- ・ 近隣の寺院・図書館・自然動物公園・海の公園などでの園外活動をしています。また散歩や商店街での買い物体験などを通して、地域の人たちとの交流ができています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・ 保育課程の作成にあたり、新年度が始まる前に、まずクラスで見直し、その後全体の職員で話し合っています。
- ・ 週案、月案を作成しており、その際に、子どもの発達状況や子どもの状態像を把握しつつ、緻密に次の週、月の指導計画を策定しています。
- ・ 0、1、2歳児については個別指導計画を作成しており、幼児についても、配慮を特に要するときは、保護者からの意見を考慮しながら個別指導計画を作成しています。
- ・ 要望・苦情については受付が主任、解決する責任者が園長と役割が明確にされており、玄関前に掲示し、保護者に事前に知らせています。また第三者委員の名前についても周知し、直接苦情を申し立てることができるようになっていきます。

- ・ 個人面談を年2回実施し、面談の内容を記録に残しています。この面談日にかかわらず要望があれば随時面談に応じています。また、個人面談の際に要望や意見を聞いているだけでなく、懇談会前にはアンケートを配布して、保護者の相談・要望などを受け付け、対応しています。
- ・ 保護者懇談会を年に3回実施し、保護者に各クラスの様子を伝えています。

4、地域との交流・連携

- ・ 交流保育・体験保育や園の行事などでの地域住民との交流を通して、地域からの要望を把握する努力をしています。
- ・ 園からのお知らせは、玄関外に掲示したり、散歩先の公園でチラシを配布したり、過去の見学者に郵送したりするなどしています。
- ・ 七夕・祭り・運動会・クリスマスコンサート・餅つきなどの園の行事に、地域の人々を招待しています。案内は玄関に掲示するとともに、見学者や散歩先でもチラシを配り積極的に取り組んでいます。
- ・ ボランティア受け入れにあたっては、園の方針や基本事項を記載したマニュアルがあり、これに基づき事前の打ち合わせで説明をしています。
- ・ 金沢総合高校・永谷高校・釜利谷高校のインターシップ、東京家政学院の栄養士養成のためのボランティアなどを受け入れており、さらに活動終了後には感想や意見を書いてもらっています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・ 守るべき規範・倫理規定が明文化されており、職員に配布されています。
- ・ 事業報告書が作成されており、園の入り口に掲示し、保護者や来訪者が自由に見ることができるようになっています。
- ・ 保育理念、保育方針、保育目標を、非常勤職員を含む全職員に配布するとともに、更衣室やトイレ・各保育室に掲示して周知しています。
- ・ 年2回の園長面接を通し、職員が保育理念・方針を理解し保育業務に努めているか確認しています。また、職員の自己評価表においても、その理解度を自己点検する仕組みができています。
- ・ 重要な決定事項については、保護者の代表も参加している運営委員会に必ず諮っています。変更事項などは、書面等で保護者に伝達して、保護者の意見を確認しています。
- ・ 保育指針改定、人権保障、個人情報保護、認定こども園等の保育にかかわる重要な情報は、会議などで議論し、共有化しています。

6、職員の資質向上の促進

- ・ 個々の職員の年間研修計画は、年度の初めに作成しており、園長、主任は研修計画が園の目標に沿っているかをチェックしています。さらに、園長が個々の職員の面接を行い、職員からの要望や意向を聴取し、職員に必要な資質向上に向けた目標を定めています。また、目標の達成度を評価しています。
- ・ 内部研修は活発に行われています。「人権を守る保育」「遊び」「リズム研修」をテーマとして各自が自主研究を行い、定期的に発表を行っています。さらに、自主研究の成果を図表にまとめて、分かりやすい資料を作成し、職員全員が成果を共有できる仕組みができています。
- ・ 年2回の園長面接を通し、職員が保育理念・方針を理解し保育業務に努めているか確認しています。また、職員の自己評価表においても、その理解度を自己点検する仕組みができています。
- ・ 実習生受け入れにあたっては、園の方針や基本事項を記載したマニュアルがあり、これに基づき事前の打ち合わせで説明をしています。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。




「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

| 評価分類 | 評価の理由(コメント) |
|--|---|
| <p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、保護者の実状などを考慮して作成されているか。</p> <p>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の理念は、1.陽だまりのようなあたたかい保育園、2.地域と共に育つ保育園、3.子どもと共に輝いていける保育園、となっています。 ・ 保育目標は「自然を愛し、心身ともに健康な子ども」「意欲と根気のある子ども」「仲間と関わり人を思いやれる心」「自己表現をできる子ども」「想像し考えて行動できる子ども」「基本的な習慣や態度をみにつけた子ども」としており、子どもの最善の利益を第一義にしています。 ・ この理念や目標は、入社前研修で職員に理解させるとともに、定期的に会議を開いて、方針を理解する場を設けたり、毎月の自己チェック表により、日々確認するようにしています。 ・ 保育課程の作成にあたり、新年度が始まる前に、まずクラスで見直し、その後全体の職員で話し合っています。 ・ 保育の目標などが書かれた「入園のしおり」は、入園のときに保護者全員に渡しており、説明しています。また、改訂したときなどは、保護者代表が参加している運営委員会において説明しています。 ・ 年齢ごとに、詳細な年間指導計画を策定しています。 ・ 幼児クラスにおいては、行事などを決めるときに、子どもたちから意見を出してもらったり、相談してもらっていて、その決定を尊重しています。 ・ 週間計画などでは、週の振り返りを行って次の週の計画作成に活かしており、計画に柔軟性を持たせています。 |

- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- (1)入園前に子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2)新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。



- ・ 入園後、すぐに個人面談を実施しており、面談時には子どもの様子をよく観察し、必要なときには記録を取り、対応を話し合っています。
- ・ 心身の発達状況、食事、睡眠、排泄、遊びなどの状況を詳細に記録する児童票を作成しており、家庭での子どもの状況が把握されています。
- ・ こうした記録は、保育士等がいつでも見ることができ、保育に活かせるようにしています。
- ・ 入園申込時に、慣らし保育の説明を行い、申込用紙を提出してもらい、さらに保護者への説明を十分に行っています。
- ・ 乳児に対しては、できるだけ同じ保育士が担当していますが、クラスの担当保育士が情報を共有し、主担当の保育士でなくても、子どもが安心して過ごせるようにしています。
- ・ 0、1、2 歳児に関しては、個別の連絡ノートを作成し、毎日保護者との連絡を密にしているのと同時に、お迎えの際に保護者にその日の様子を口頭で伝えています。
- ・ 新入園児が入ることを在園児にも伝え、友だちが増えることへの期待感を持てるようにしています。
- ・ 週案、月案を作成しており、その際に、子どもの発達状況や子どもの状態を把握しつつ、次の週、月の指導計画を策定しています。
- ・ 計画の評価、策定をする際には、複数の保育士が話し合い、かかわっています。
- ・ 毎日の連絡帳、保護者からの口頭での連絡などから、一人ひとりの子どもの状況を把握し、計画に反映させています。


- 3 快適な施設環境の確保





- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。




- ・ 園内は掃除が行き届き、常に清潔が保たれています。0 歳児の部屋は専用の掃除機、ぞうきんを使用して、特に清潔さに気をつけています。
- ・ 換気扇、加湿器、空気清浄機などが設定されており、気になるにおいは取り除かれています。
- ・ 室温計、湿度計をみてエアコンを調整し、温度、湿度が適切に管理されています。
- ・ 園の設計上、陽光を十分に取り入れられています。
- ・ 保育士の声が必要以上に大きくならないように、子どもへの声かけはその子の近くで行っています。
- ・ 沐浴設備があり、また温水シャワー設備が用意されています。
- ・ シャワースペース、沐浴設備は掃除マニュアルに沿って掃除をしています。また沐浴設備は一人使用ごとに洗浄、消毒をしています。
- ・ 0 歳児、1 歳児、2 歳児では、あらかじめグループ分けを行っており、グループごとに机を配置するなどして、小集団の保育ができるように配慮されています。
- ・ 乳児は食事と睡眠は別のスペースが確保されています。幼児クラスでは食べる、寝るなどの空間は別々には用意されていませんが、同一空間であっても食事後はきれいに清掃し、その上に断熱シートを敷いて、布団を並べています。

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 3、4、5 歳児は縦割り保育を行っており、異年齢児間の交流ができています。 ・ 5 歳児は 2 歳児との交流を図り、着替え、トイレ、手洗いのお手伝いをしています。 |
| <p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p>  <p>(1)子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。</p> <p>(2)子ども一人ひとりの発達の段階に応じた対応をし、その記録があるか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 0、1、2 歳児については個別指導計画を作成しています。個別の目標・計画は月案だけでなく、週案まで作成しており、さらに、計画は柔軟に立て直しています。 ・ 幼児についても、配慮を特に要するときは個別指導計画を作成しています。 ・ 子どもの発達経過表を作成しており、成長発達記録があります。 ・ 0、1 歳児は毎月、2 歳児、幼児は 2 ヶ月に 1 回児童票を更新しており、個別の状況を記録しています。 ・ 子どもの児童票はファイルにして保管しており、必要に応じて保育士等の職員が見ることができるようになっています。 ・ 進級時には、旧担任から新担任へと、個々の子どもについての申し送りを文書等で正確に伝えています。 |
| <p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>  <p>(1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p> <p>(3)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。</p> <p>(4)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 配慮を要する子どもや、課題のある子どもへの対応、アレルギーのある子どもに関しては、ケース会議を行い、対応の仕方を話し合っています。また、その記録がファイルしてあります。 ・ 外部研修や運営法人における「気になる子どもへの配慮」等の研修会に参加し、その内容は職員会議で報告されて、保育に活かしています。 ・ 配慮を要する子どもに関する情報は、ファイリングされており、いつでも確認できるようになっています。 ・ 1 階から 2 階へのエレベータが設置されており、さらに入り口の階段には、車いすに対応した昇降機があります。また、障がい者用のトイレも設置されており、バリアフリーなど障がい児保育のための環境が整備されています。 ・ 園として、嘱託医といつでも相談や助言を得ることができる体制ができており、緊急時にも保護者の同意の下に対応できるようになっています。 ・ 障がい児についての外部研修を受け、その内容は職員間で共有し、話し合っています。 ・ 運営法人が作成した「虐待対応マニュアル・対応フロー」を全保育士が把握し、必要に応じて視診や食事の食べ方等を入念に観察するように心がけています。 ・ 児童相談所、区役所との連携をとって、情報を共有し、早い対応ができる体制を作っています。また、南部地域療育センターや区保健師と連携する体制があり、情報共有を図っています。 ・ 虐待を確認、または疑わしい場合は、園長は児童相談所や区役所等に通報・連絡・報告を行うことになっています。 ・ 入園時点で保護者との面談でアレルギーについて聞き取りをしており、アレルギーがある場合には医師の指示を受けて、適切な対応を取っています。 |

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーのある子どもに対して、代替食・除去食を提供する場合には、専用トレイを使用し、担当の保育士が誤食事故を防止しています。 ・外国籍の子どもについては、文化や宗教の違いを尊重し、柔軟な対応をしており、食事などはその国の文化を尊重して無理強いはしないようにしています。 ・意思の疎通が困難な保護者に対しては、連絡帳、掲示板等はひらがなで書いており、お便り等の配布物は、手渡す前に内容を説明しています。また、話すときはゆっくりと分かりやすく説明しています。 ・意思疎通が困難なケースの場合は、友人や親類に通訳ができる人を探す手立てをしています。しかし、個人的なつながりによる通訳ではなく、組織的に対応策が用意されていることが望まれます。 |
| <p>- 6 苦情解決体制</p>  <p>(1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>(2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員の名前、苦情対応の方法について保護者に周知しており、直接苦情を申し立てることができる仕組みとなっています。 ・個人面談の際に、要望や意見を聞いています。また、懇談会前にはアンケートを配布して、保護者の相談・要望などを受け付け、対応しています。 ・意見を口頭で出しづらい保護者には、連絡帳を利用して表出しやすいように、また声をかけやすい雰囲気や園側から作るなどの配慮を行っています。 ・保護者からの要望や苦情を受け付け、対応するためのマニュアルが作成されており、職員に配布し、周知徹底をはかっています。 ・第三者委員を外部の識者に委嘱しており、苦情事案について第三者委員を交えて対応する仕組みができています。 ・要望や苦情が出た場合は、職員会議を開き、なぜ起きたか、今後の対応などについて話し合い、職員に問題を周知・徹底しています。また、苦情内容・苦情原因・改善経緯・結果・反省及び改善点など、時系列で解決までのプロセスを記録しており、その後の対応策に役立てています。さらに、場合によっては、対応マニュアルを修正・追加しています。 |

評価領域 サービスの実施内容

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|--|---|
| <p>- 1 保育内容[遊び]</p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p>(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p>(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中になされているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育室内のおもちゃや教材は、子どもの成長に合わせてこまめに見直しや入れ替えをしています。 ・ 牛乳パックでさまざまな形・大きさのパーテーションや台、椅子などを作っています。乳児クラスでは伝い歩きの支えにしたり、幼児クラスではコーナーとして機能させるなどして、年齢にあった環境作りに役立てています。 ・ 子どもの自由な発想や表現を育てることを、園の大きな目標としています。乳児期には、五感を通して「感じる」ことから始め、成長に従って「表現する」ことへとすすめています。保育士は子どもたちの興味を見逃さず、遊びや製作へとつなげる保育をしています。 ・ プランターで、夏は、ゴーヤ・キュウリ・ナス・ピーマン・トマトなど、冬はホウレンソウ・大根・人参・ラデッシュなど、年間を通して季節の野菜を育てています。幼児クラスの子どもたちは水やりや収穫の体験をして野菜の育ちを楽しみ、さらにクッキングで食べる楽しみへとつなげています。乳児クラスの子どもたちにはプランターの野菜を見たり、収穫した野菜を触ったりすることから、給食の食材への興味へとつなげるように心がけています。 ・ 園として、子どもの表現する力を伸ばすことに力を注いでいます。リズム研修の講師でもある保育士によるリズム遊びや、専門講師による造形活動などを、年間を通して行っています。 ・ 3、4、5歳児は合同保育であり、遊びや製作・食事などほとんどの活動において、異年齢が混じるグループ分けによる保育をしています。 ・ 子ども同士のけんかについては、けんかも子どもの成長過程に必要なことと考え、保育士はケガに注意をしながら、見守る姿勢でいます。合同保育のなかで年長児がけんかを仲裁したり、泣く子を心配したり、子ども同士で極めて自然に解決をしています。 ・ 午前午後の散歩、海遊び山遊びなどの園外活動を積極的に取り入れています。 |
| <p>- 1 保育内容[生活]</p>  <p>(7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p> <p>(8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p> <p>(9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。</p> <p>(10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p> <p>(11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児の授乳は、家庭での授乳時間を目安にしつつ子どもがミルクを欲しがるときに、抱き・子どもの顔を見て、話しかけながら行います。希望があれば、冷凍保存での母乳対応をしています。 ・ 食事は異年齢の子どもが混じって同じテーブルに着きます。各テーブルには楽しい話し声があり、大人数の兄弟・家族のような食卓となっています。 ・ 食育の一環として、よもぎ団子・みかんジュース・ふりかけ・パン・ピザなどのクッキングを積極的に取り入れています。味噌汁作りでは、実際に鰹節削りを経験したり、煮干しに触れたりするなどの体験を通して子どもたちは食への興味と関心を深めています。また、子どもたちが育てた野菜をクッキングで使い、食べものを大事に育ておいしく食べることも学んでいます。 |

| | |
|---|--|
| <p>況に応じて対応しているか。</p> <p>(12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・月に1度、給食会議を行い、子どもたちの喫食状況を基に、食材の量や大きさ、味付けなどを話し合っています。 ・毎日の給食の実物サンプルを玄関に掲示し、迎えの保護者が見られるようにしています。また、作り方の相談などには、いつでも応じています。 ・午睡時は保育室内のカーテンを引き静かな環境を整えています。絵本の読み聞かせ・トントン・おんぶ・添い寝・抱っこなど、子どもが必要とする要求にできるだけ応え、子どもが安心して眠りに入ることができるようにしています。 ・トイレトレーニングは保護者と相談を行いつつ、家庭と連携して無理なくすすめています。 |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p>  <p>(1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p> <p>(2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。</p> <p>(3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・食後の歯磨き指導は1歳児の後半から行っています。看護師が日々、年齢に応じた歯磨き指導をしています。 ・「健康カード」として園児一人ひとりの健康診断・歯科健診の記録があり、担任保育士や看護師が保護者に内容を説明しています。 ・感染症対応に関するマニュアルがあります。また保護者には、入園時に配布する「入園のしおり」に、感染症に関する項目があり、これに基づいた説明を行っています。 |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p>  <p>(4)衛生管理が適切に行われているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・園内はマニュアルに基づいて清掃が行われ、清潔が保たれています。調理室やトイレなどは掃除チェックリストに日々記録し、職員が確認をしています。 |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p>  <p>(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p> <p>(6)事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。</p> <p>(7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理に関するマニュアルは、運営法人作成のマニュアルとは別に、園独自に事故や災害を想定したより具体的な「業務マニュアル」を作成し、職員全員が携帯して日々の保育に役立てています。 ・地震・火災・不審者・津波などを想定した避難訓練を毎月行っています。職員は訓練終了後に反省会を持ち記録を残し、次の訓練に反映させています。 ・年1回、大災害を想定した園児の引き渡し訓練を保護者全員参加で行っています。 ・年に1度、消防署員による救急救命法の講習を、非常勤職員も含めた全職員が受講しています。 ・職員会議での事故報告、再発防止の検討だけでなく都度のヒヤリハット報告や毎週末の自己防止チェックを実施し、安全な環境確保に向けた努力をしています。 ・民間警備会社と契約し、緊急時には各保育室から直接通報できるシステムになっています。 |

- 3 人権の尊重



- (1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (5) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ・ 「業務マニュアル」に“保育にあたっていつも心にとめておいて欲しいこと”として子どもの人格尊重に関するきめ細かな項目をおいています。このマニュアルは全職員が携帯し、日々の保育の基本となっています。
- ・ おむつ交換はパーテーションで囲いを作り、ほかの子どもにも触れない配慮をしています。幼児クラスのトイレは、安全を確保した高さの低いドアでプライバシーを守っています。
- ・ 守秘義務については、職員全員が入社時に研修を受け、機密保持誓約書を提出しています。ボランティア・実習生に対しても活動前に説明をし、守秘義務の誓約書を提出してもらってから保育に参加するシステムになっています。
- ・ 園内の日常的な写真撮影に関しては保護者と承諾書を取り交わしています。民間のインターネット写真販売サービスも導入していますが、保護者限定のパスワードで閲覧制限をしています。
- ・ 順番・グループ分けなどにおいて、性別で決めることはなく子どもが自分で選べるようにしています。



- 4 保護者との交流・連携






- (1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3) 保護者の相談に応じているか。
- (4) 保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。
- (6) 保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。

- ・ 「入園のしおり」に園の保育目標を載せ、入園時に保護者に配布し説明しています。
- ・ 個人面談を年2回実施し、面談の内容を記録に残しています。この面談日にかかわらず要望があれば随時面談に応じています。
- ・ 保護者から相談を受けた職員は、園長・主任に内容を報告し、必要な助言を受ける仕組みができています。相談内容によっては臨床心理士が面談に応じています。
- ・ 「にじいろだより」「ほけんだより」「給食だより」を、毎月保護者に配布しています。
- ・ 保護者参加の行事については年間行事予定をあらかじめ配布し、保護者の予定が立てやすいようにしています。
- ・ 保護者会は現在ありませんが、運営委員会に保護者代表がメンバーとして加わっています。




評価領域 地域支援機能

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|---|--|
| <p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 定期的に行われる子育て支援に関する金沢区の研修会や金沢区園長会での情報交換や、金沢区役所主催の「子育て報告会」での地域住民との交流などから、子育て支援の地域ニーズの把握をしています。 体験保育や誕生会招待（地域の子どもが園の子どもとともにその月の誕生会を行う）、地域の親子対象にした「親子ふれあい広場」などを実施しています。また、散歩先での絵本読み聞かせでは、近隣の子どもたちにも声をかけ一緒に楽しんでもらっています。 |
| <p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。 (2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 園からのお知らせは、玄関外に掲示したり、散歩先の公園でチラシを配布したり、過去の見学者に郵送したりするなどしています。 月1回の臨床心理士による相談日だけでなく、随時育児相談に応じており、そのお知らせを玄関の外に掲示しています。 金沢区幼保小会議・南部地域療育センター・児童相談所、消防署・警察などと日常的に連携をしています。 |




評価領域 開かれた運営

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|---|--|
| <p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1)保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・七夕・祭り・運動会・クリスマスコンサート・餅つきなどの園の行事に地域の人々を招待しています。 ・散歩や商店街での買い物体験などを通して、地域の人たちとの交流をしています。 ・近隣の小・中学校の運動会見学や、老人施設訪問、姉妹園との交流を積極的に行っています。 |
| <p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・将来の保育園利用者に必要な事柄については、園のパンフレットやホームページに掲載しているほか、地域の子育て情報誌「ちゅーりっぷ」にも情報提供しています。 ・利用希望者の施設見学の予約は常時受け付けており、予約なく見学にきた人にもできる限り希望に沿うよう配慮をしています。 |
| <p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p>  <p>(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。 (2)実習生の受入れを適切に行っているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア及び実習生の受け入れにあたっては、マニュアルがあり、これに基づき事前の打ち合わせで園の方針や基本事項を説明しています。 ・金沢総合高校・永谷高校・釜利谷高校のインターシップ、東京家政学院の栄養士養成のためのボランティアなどを受け入れています。 ・実習生受け入れの際は、実習の目的に応じてより効果的な実習となるよう、事前に十分学生と話し合います。希望により部分実習・1日実習なども取り入れ、柔軟に対応しています。 |

評価領域 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|--|---|
| <p>- 1 職員の人材育成</p>  <p>(1)保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。 (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営法人は、日々の園運営に十分な対応ができるように、人材補充を適宜行っています。 ・ 職員の研修ニーズや園の目標に沿うように、園長と主任が研修計画を作成し、年間計画を一覧の形で表示しています。 ・ 内部研修は活発に行われています。「人権を守る保育」「遊び」「リズム研修」をテーマとして各自が自主研究を行い、定期的に発表を行っています。自主研究の成果を図表にまとめて、分かりやすい資料を作成し、職員全員が成果を共有できる仕組みができています。 ・ 年度の初めに、各研修機関や運営法人からの年間の研修案内を職員に配布し、職員が希望するコースを選択させています。 ・ 外部研修に参加した職員は、研修報告書を作成するとともに、職員会議などで報告を行っています。 ・ 非常勤職員にも業務マニュアルは配布されており、業務にあたっては、常勤職員と非常勤職員の組み合わせに配慮しています。 ・ 朝のミーティングで話された内容は、保育士を通じて非常勤職員に必ず伝達しています。また、研修報告は非常勤職員もいつでも見ることができ、資質向上に配慮しています。 ・ 月 1 回は非常勤職員のミーティングを行い、職員会議の内容や特記事項を必ず伝達しています。 |
| <p>- 2 職員の技術の向上</p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各職員は、毎週振り返りを行うことになっており、そのフォーマットも作成されています。 ・ ほぼ定期的に行われる内部研修会では、テーマを決めて、それに沿った事例を発表し、職員の技術向上を図っています。 ・ 造形では、外部の専門家に直接子どもを指導してもらい、そこから保育士が教え方のスキルアップが図れるような機会が作られています。 ・ 保育課程は職員が話し合い、保育方針や保育目標を十分理解した上で作成しています。期ごとに反省を行い、目標に近づく保育を実践しているかを自己評価しています。 |
| <p>- 3 職員のモチベーション維持</p>  <p>(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 園長は個々の職員との面談を行い、それぞれの役割や期待水準を明確にし、職員に伝えています。これらは「業務確認シート」として残されています。 ・ 職員の任務分担、役割分担を定めており、権限はできる限り現場に委譲しています。 ・ 職員の満足度や要望、業務改善に対する意見などは、園長面談などで聞く体制があり、なおかつ職員に対するアンケートを行い、業務改善の提案を受ける仕組みができています。 |

評価領域 経営管理

| 評価分類 | 評価の理由（コメント） |
|---|--|
| <p>- 1 経営における社会的責任</p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。 (2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 守るべき規範・倫理規定が明文化されており、職員に配布されています。 ・ 事業報告書が作成されており、園の入り口に掲示し、保護者や来訪者が自由に見ることができるようになっています。 ・ 自由遊びでは広告や古い雑誌などを再利用したり、廃材を利用しておもちゃ遊びをするなど、ゴミの減量化、リサイクルに努めています。 ・ 夏は玄関にゴーヤやキュウリなどを植え、グリーンカーテンとしたり、冷暖房の温度設定は節電モードにするなど、省エネルギーに努めています。 ・ 環境についての取り組みを明文化し、マニュアルとして職員に周知しています。 |
| <p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  <p>(1)保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。 (2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。 (3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念、保育方針、保育目標を、非常勤職員を含む全職員に配布するとともに、更衣室やトイレ・各保育室に掲示して周知しています。 ・ 年2回の園長面接を通し、職員が保育理念・方針を理解し保育業務に努めているか確認しています。また、職員の自己評価表においても、その理解度を自己点検する仕組みができています。 ・ 重要な決定事項については、保護者の代表も参加している運営委員会に報告しています。変更事項などは、書面等で保護者に伝達して、保護者の意見を確認しています。 ・ 運営委員会は定期的開催し、保育方針や保育内容を説明しています。 ・ 運営法人では、主任格の職員を集めて研修し、主任業務について勉強をしてもらう仕組みがあり、必ず参加しています。 ・ 主任は、担任を持つのではなく、各クラスの保育に入ったり職員に話しかけたり相談に乗るなど、業務全般を把握し、適切な援助を行っています。 ・ 主任は、職員の精神面・身体面に配慮してシフト調整等を行い、常に良好な状態で業務に取り組めるように配慮しています。 |
| <p>- 3 効率的な運営</p>  <p>(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。 (2)保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業運営に影響のある情報は、市の私立保育園園長会、区園長会、地域療育センター、児童相談所などの外部機関からの情報や、運営法人の園長会などからの情報を収集し、園として分析しています。 ・ 運営面で重要な課題が出た場合は、運営法人の園長会で提示されるため、必ず職員会議で職員全体に周知し、取り組んでいます。 ・ 園としては、独自の中長期計画は策定していませんが、運営法人が他の保育園も含めて全体的な計画を定めています。しかし今後は、このような運営法人の計画に沿って、園独自の中長期計画を策定していくことが望まれます。 ・ 運営法人は、今後の保育環境の変化を勘案しつつ、今後のサービスや運営のあり方を検討しています。 |

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2011年10月25日～11月7日
- 2、実施方法
保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
なお、外国につながる保護者の個別の状況に合わせて、
日本語以外の言語でもアンケート用紙を作成した。
- 3、回収率 85.5%（69枚配付、59枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...6人、1歳児クラス...12人、2歳児クラス...12人、3歳児クラス...11人、
4歳児クラス...8人、5歳児クラス...10人

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

文中の「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、
「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です

結果の特徴

- ・問2の「入園時の見学の受け入れ」については、64.5%と低めの満足度となっています。これは、一昨年に新設した保育園であったため、当時の入園児は見学ができなかったことによります。
- ・施設設備について、不満との回答が23.7%ありますが、立地条件（道路に面している・園庭がないなど）への不満回答です。ただし、こうした不満意見を上回って、「この立地条件の中で保育園や保育士が工夫をして良くやってくれている」という感謝の意見が多くあります。
- ・自由意見欄には、先生の笑顔・熱心さ・前向きな姿勢、などの言葉が多くあり、保護者と保育園との良好な関係がみてとれます。
- ・「日常の保育内容」「園と保護者の交流」「職員の対応」など、全体を通して、大変満足度の高い結果となっています。総合的な評価においても98.3%の満足を得ています。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

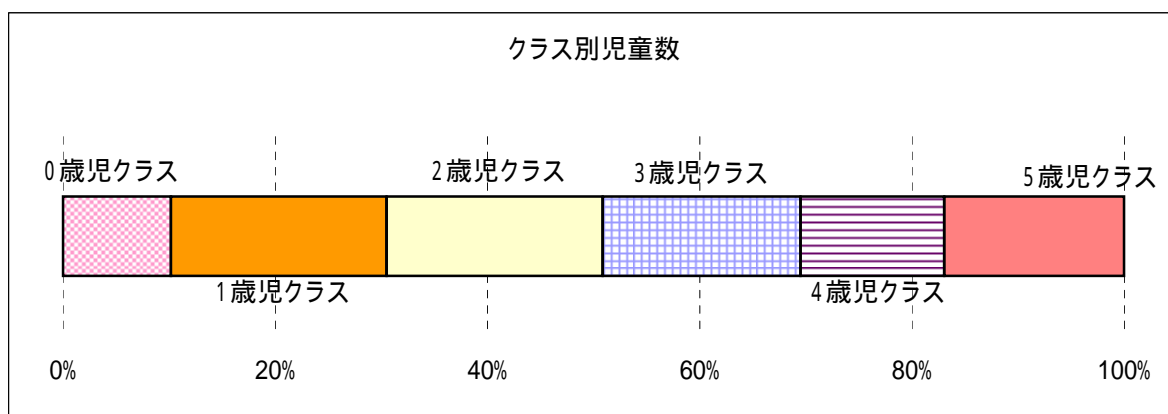
実施期間： 2011年 10月25日～11月7日

回収率： 85.5% （回収59枚 / 配布69枚）

【属性】

| クラス別児童数 | | | | | | | （人） |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 合計 | 0歳児クラス | 1歳児クラス | 2歳児クラス | 3歳児クラス | 4歳児クラス | 5歳児クラス | 無回答 |
| 59 | 6 | 12 | 12 | 11 | 8 | 10 | 0 |

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



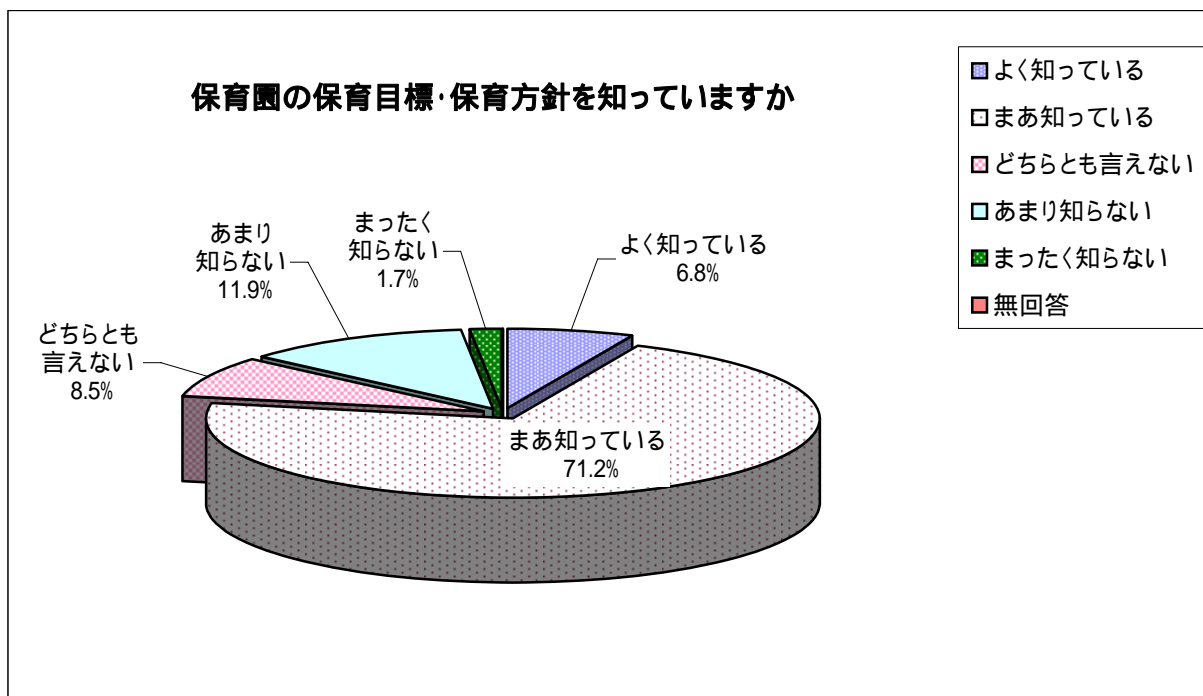
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

| 問1: | よく知っている | まあ知っている | どちらとも言えない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答 | 計 |
|---------------------------|---------|---------|-----------|---------|----------|-----|-----|
| あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか | 6.8 | 71.2 | 8.5 | 11.9 | 1.7 | 0.0 | 100 |

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

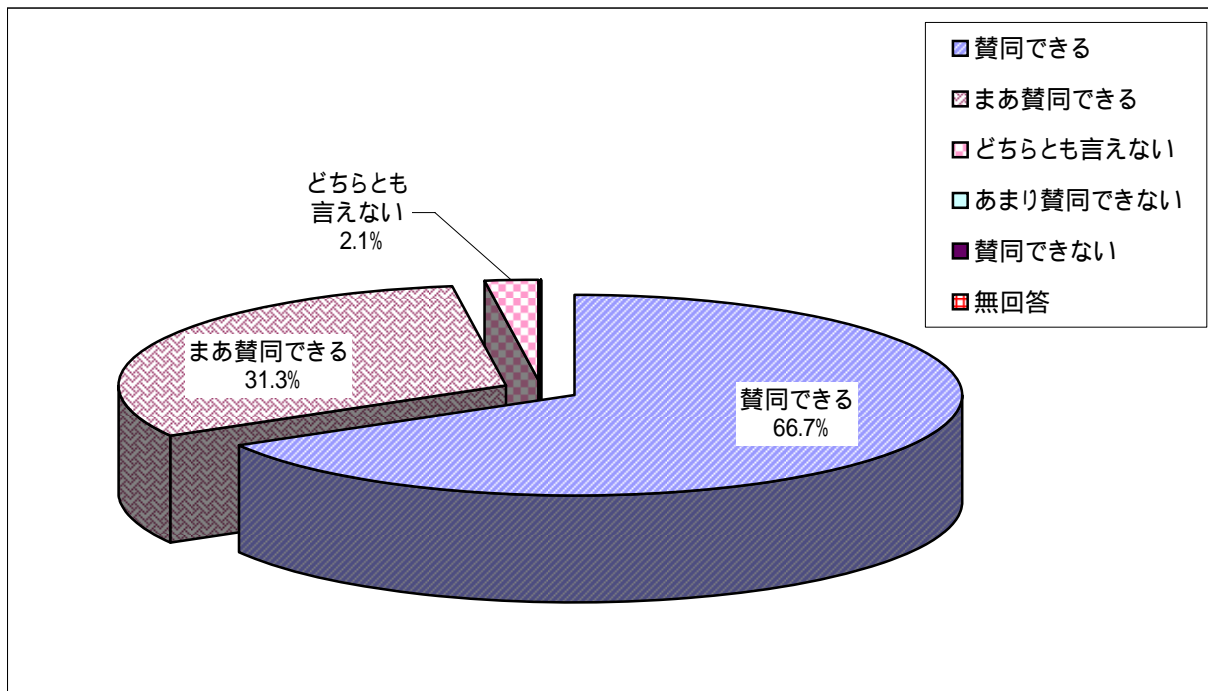


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

| 付問1: | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらとも言えない | あまり賛同できない | 賛同できない | 無回答 | 計 |
|---------------------------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|-----|-----|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか | 66.7 | 31.3 | 2.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |



保育園のサービス内容について

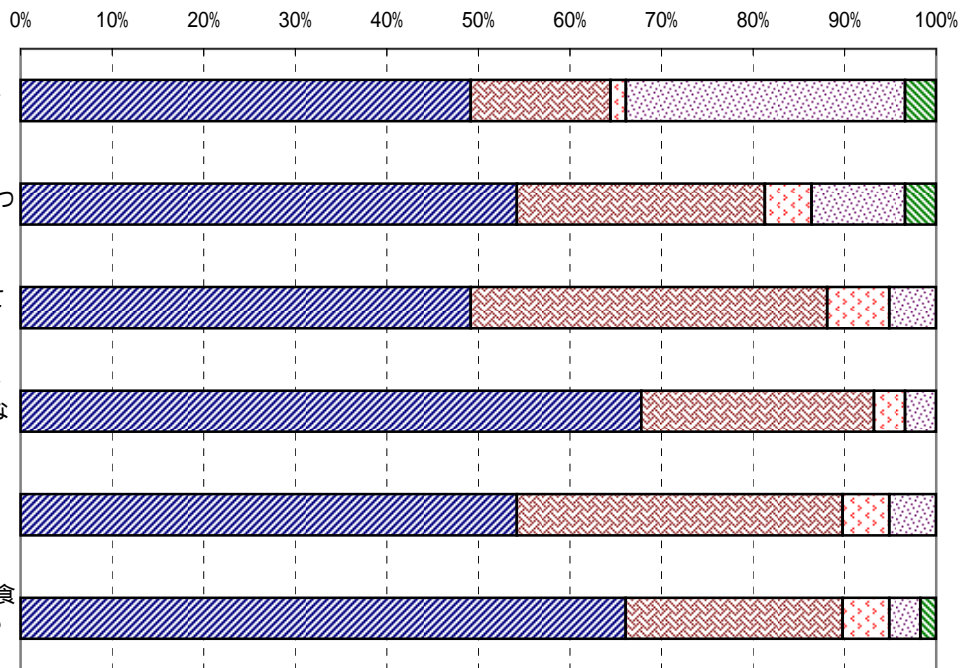
問2 入園時の状況について

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| 見学の受け入れについて | 49.2 | 15.3 | 1.7 | 0.0 | 30.5 | 3.4 | 100 |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については | 54.2 | 27.1 | 5.1 | 0.0 | 10.2 | 3.4 | 100 |
| 園の目標や方針についての説明には | 49.2 | 39.0 | 6.8 | 0.0 | 5.1 | 0.0 | 100 |
| 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には | 67.8 | 25.4 | 3.4 | 0.0 | 3.4 | 0.0 | 100 |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には | 54.2 | 35.6 | 5.1 | 0.0 | 5.1 | 0.0 | 100 |
| 費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて) | 66.1 | 23.7 | 5.1 | 0.0 | 3.4 | 1.7 | 100 |

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



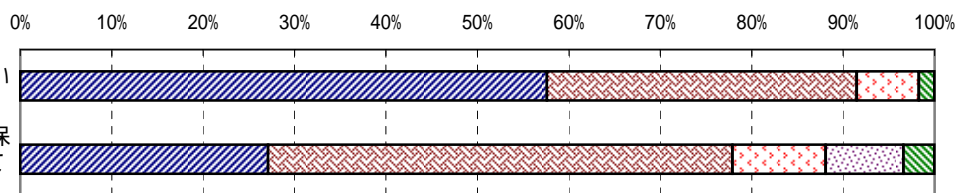
問3 年間の計画について

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|--------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明には | 57.6 | 33.9 | 6.8 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 100 |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 27.1 | 50.8 | 10.2 | 0.0 | 8.5 | 3.4 | 100 |

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



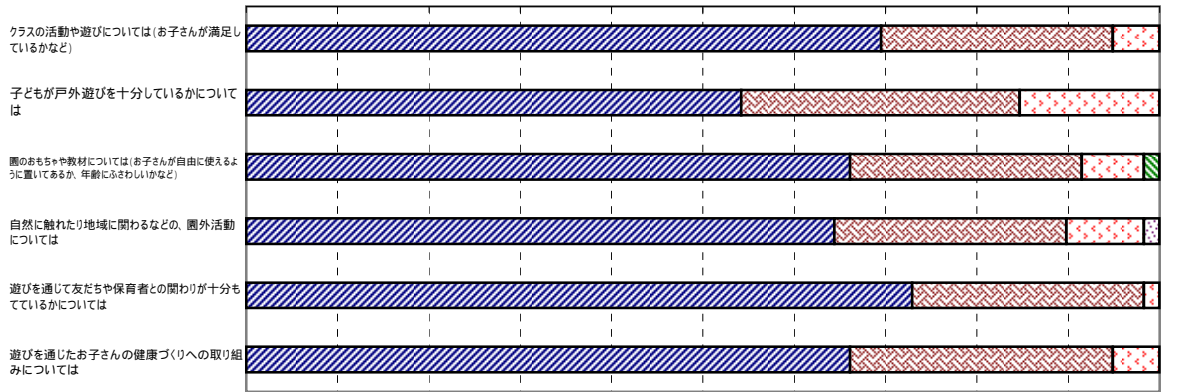
問4 日常の保育内容について

(%)

| 「遊び」について | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|--|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど) | 69.5 | 25.4 | 5.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 子どもが戸外遊びを十分しているかについては | 54.2 | 30.5 | 15.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 66.1 | 25.4 | 6.8 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 100 |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については | 64.4 | 25.4 | 8.5 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 100 |
| 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては | 72.9 | 25.4 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては | 66.1 | 28.8 | 5.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |

日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

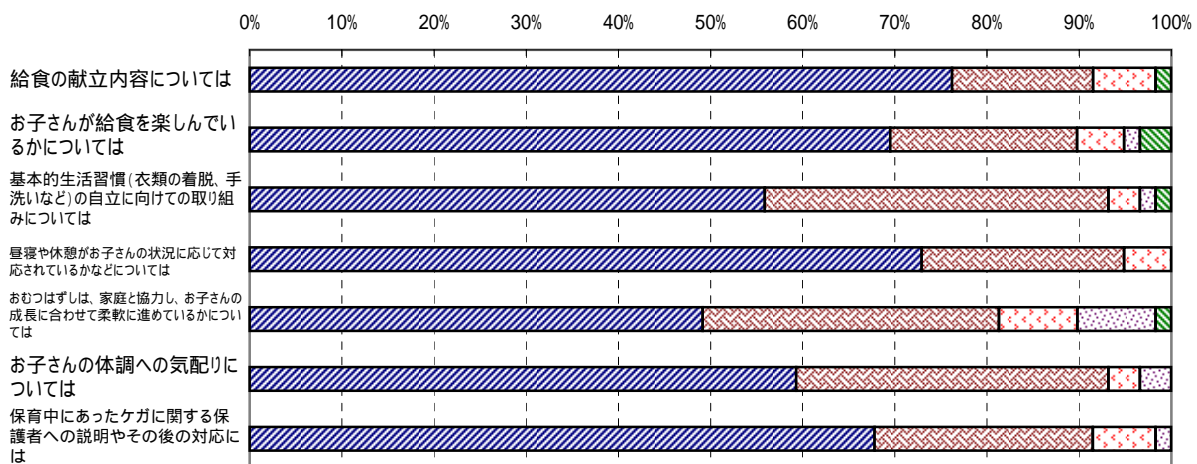


(%)

| 「生活」について | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 給食の献立内容については | 76.3 | 15.3 | 6.8 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 100 |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては | 69.5 | 20.3 | 5.1 | 0.0 | 1.7 | 3.4 | 100 |
| 基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては | 55.9 | 37.3 | 3.4 | 0.0 | 1.7 | 1.7 | 100 |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては | 72.9 | 22.0 | 5.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては | 49.2 | 32.2 | 8.5 | 0.0 | 8.5 | 1.7 | 100 |
| お子さんの体調への気配りについては | 59.3 | 33.9 | 3.4 | 0.0 | 3.4 | 0.0 | 100 |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には | 67.8 | 23.7 | 6.8 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 100 |

日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



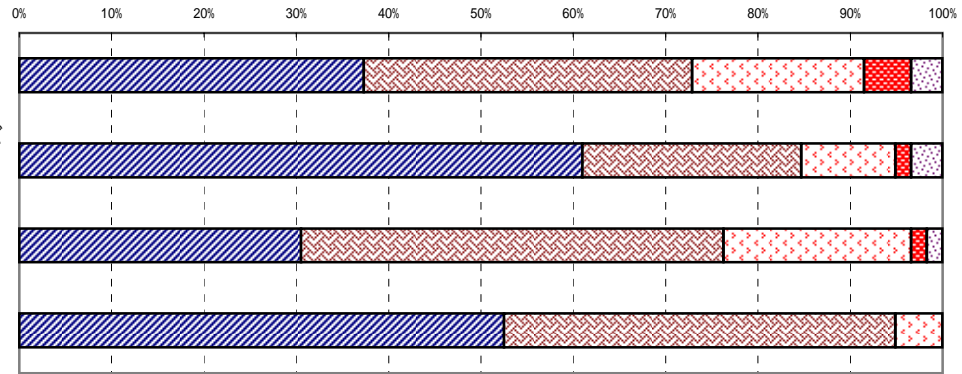
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|-------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 施設設備については | 37.3 | 35.6 | 18.6 | 5.1 | 3.4 | 0.0 | 100 |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては | 61.0 | 23.7 | 10.2 | 1.7 | 3.4 | 0.0 | 100 |
| 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については | 30.5 | 45.8 | 20.3 | 1.7 | 1.7 | 0.0 | 100 |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については | 52.5 | 42.4 | 5.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



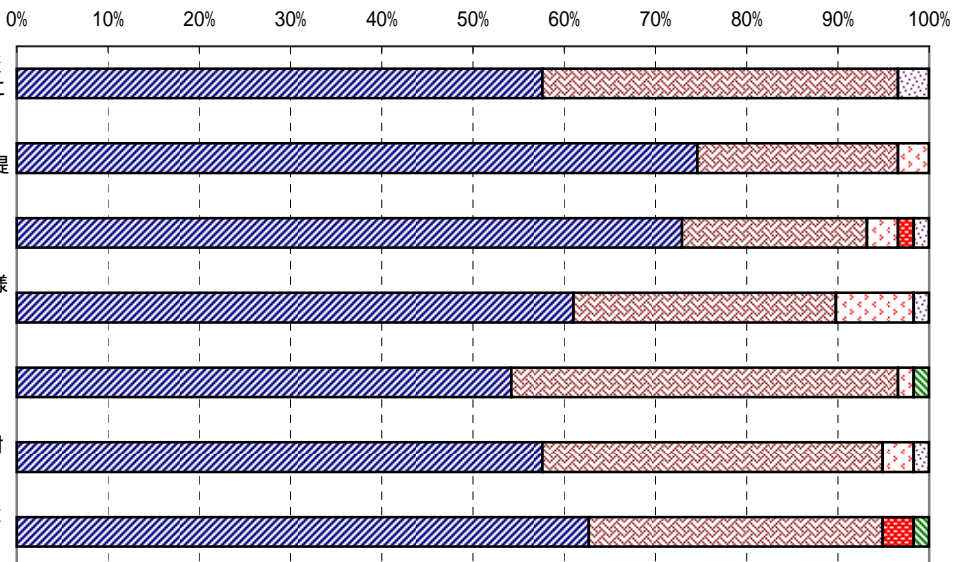
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については | 57.6 | 39.0 | 0.0 | 0.0 | 3.4 | 0.0 | 100 |
| 園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については | 74.6 | 22.0 | 3.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については | 72.9 | 20.3 | 3.4 | 1.7 | 1.7 | 0.0 | 100 |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については | 61.0 | 28.8 | 8.5 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 100 |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については | 54.2 | 42.4 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 100 |
| 保護者からの相談事への対応には | 57.6 | 37.3 | 3.4 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 100 |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 62.7 | 32.2 | 0.0 | 3.4 | 0.0 | 1.7 | 100 |

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問7 職員の対応について

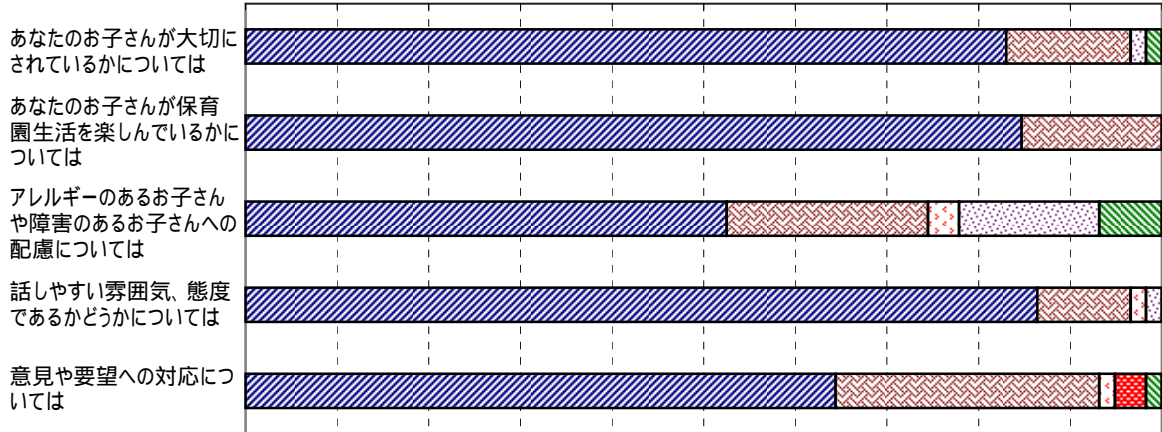
(%)

| | 満足 | どちらかといえ ば満足 | どちらかといえ ば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---------------------------------|------|----------------|----------------|-----|------|-----|-----|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては | 83.1 | 13.6 | 0.0 | 0.0 | 1.7 | 1.7 | 100 |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては | 84.7 | 15.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 52.5 | 22.0 | 3.4 | 0.0 | 15.3 | 6.8 | 100 |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては | 86.4 | 10.2 | 1.7 | 0.0 | 1.7 | 0.0 | 100 |
| 意見や要望への対応については | 64.4 | 28.8 | 1.7 | 3.4 | 0.0 | 1.7 | 100 |

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

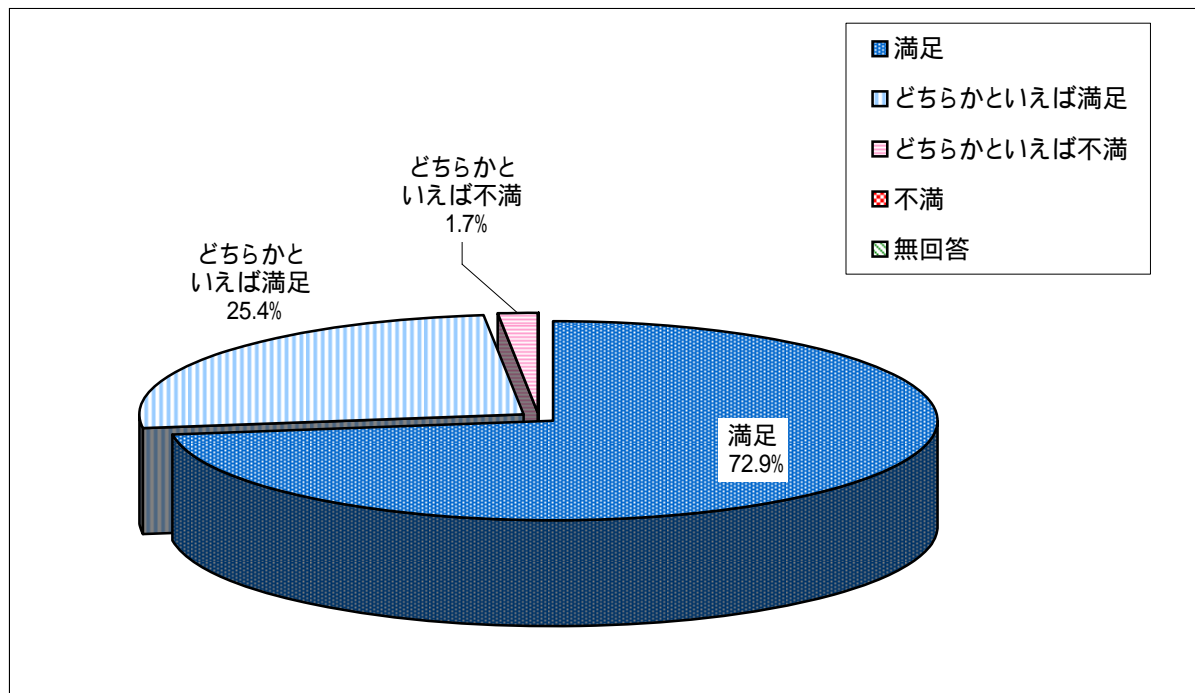
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

| | 満足 | どちらかといえ ば満足 | どちらかといえ ば不満 | 不満 | 無回答 | 計 |
|--------|------|----------------|----------------|-----|-----|-----|
| 総合満足度は | 72.9 | 25.4 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 100 |



利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 12月13日（火）9：00～13：00 12月15日（木）8：45～13：00

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

0、1、2歳児クラス

0歳、1歳、2歳のクラスは、独立した保育室で保育をしていますが、散歩や行事では合同保育になることもあります。朝の時間は、各保育室で自由遊びをしています。

➤ 0歳児クラス

明るい室内には、牛乳パックの廃材で手作りした、椅子・窓・箱などのいろいろな形の遊具があります。子どもたちは、これらをつかまり立ちの支えにしたり、押して歩いたり、保育士と一緒に電車に見立てたりなどして、上手に使って遊んでいます。

遊びの中で、子どもが初めてできたことがあると「ちゃん、これができたの!」と、保育士は抱き上げて大きくほめ、ほかの保育士も一緒になって子どもの成長一つずつを喜びあっています。

遊ぶ場所と少し距離を置いたところに、おむつ替えのベッドがあります。子どもの様子を見て保育士がおむつの交換をしています。子どもとの一対一の時間を楽しむように、優しく話しかけ身体に触れながら清潔にしていきます。保育士の愛情を十分に受けて、子どもたちは落ち着いた表情です。

➤ 1歳児クラス

朝のおやつの時間、みんなできちんと着席しています。出欠は、保育士に「さん」と、フルネームで呼ばれ、一人ずつ手を挙げています。そして、手を挙げるのができた一人ずつに拍手がおきます。友だちからの拍手に得意そうです。おやつが配られると、みんな待ちきれないように旺盛に食べています。

➤ 0、1歳児の散歩

この日の散歩は0歳児・1歳児クラスが、合同で出かけます。0歳児のほとんどはカートに乗って、ほかは友だちや保育士と手をつないで歩きます。途中のお店のポスターの絵や、鳥の鳴き声、空の色、草の色、川面のきらきら模様などなど、保育士は子どもたちに感じてほしいことを話しながら歩きます。子どもたちは目で耳で興味を示し、鳩を見つけたときは「ぽっぽっぽ…」と、歌声になりました。

目的地の公園に着くと、まだよちよち歩きの0歳児クラスの子どもの多いのですが、一生懸命に歩いています。保育士に、落ち葉に小さな穴をあけて目鼻をつけてもらい、葉っぱのおばけができました。小さな葉っぱで顔を隠して「おばけー」と、にぎやかです。「貨物車シュッシュッ」を歌いながら保育士の後ろについてかけっこをするグループもあります。園から持参したおもちゃを使って、砂場でままごとをするグループもいます。みんな、思い思いに外遊びを堪能して帰路に着きます。

➤ 2歳児クラス

朝の散歩の準備に、トイレを済ませたり、靴下・帽子・上着などの身仕度をしたりしています。自分で紙パンツを持ってトイレに行く子どももいます。身仕度の自分でできないところは保育士に手伝ってもらい、準備を整え出発です。

目的地の公園に着くと、みんなで歌を歌ったり、鬼ごっこをしたり、しっぽ取りゲームをしたり、砂遊びをしたり、いろいろな遊びをみんなで仲良く楽しんでいます。同じ公園に来ていた他の団体の子どもたちと仲良く一緒に遊ぶ子どももいます。

帰り道では、遊び疲れてぐずる子どももいますが、保育士は根気よく話し聞かせています。

保育園に帰ると給食の用意ができています。全員でトイレや、手洗いを済ませ、順に着席して食事を始めます。栄養士が食事の様子を見に来て、材料や献立の話をお聞かせます。もっと食べたい子どもには、栄養士がごはんやおかずのお替りをしてあげています。

3、4、5歳児クラス

3、4、5歳児は、合同保育です。

朝の自由時間、子どもたちは、ままごと・絵本読み・粘土製作・紙コップ積み・ブロック遊びなど、それぞれがやりたい遊びを見つけています。子どもたちが段ボールで作った「基地」の中にも数人の子どもが入り込んでいます。

登園してくる子どもは、一人ずつ保育士に笑顔で抱きあげられています。子どもたちもうれしそうに保育室に入ってきますが、中には少し機嫌の悪い子どももいます。泣いている子どもには、すぐに一人二人と友だちが寄ってきて、「なんで泣いてるの」と、気遣っています。友だちの慰めで、すぐに機嫌も直りました。

観察一日目の朝の時間、子どもたち全員で「サンタが街にやってくる」と「あわてんぼうのサンタクロース」を、保育士の伴奏に合わせて歌っています。その後、年齢別の運動が始まりますが、何の運動をするかを決めるのは子どもたちです。年齢ごとに集まって相談をして決定します。室内の鉄棒やマットも使い、走る・跳ぶ・逆立ち・側転などの運動に挑戦しています。上手にできない子どもにはまわりから「がんばれ」と、大きな応援の声がかかります。

全員で公園に散歩に行きます。途中、地域の行き交う人たちとあいさつをしたり園児の列を優先してくれる人にお礼を言ったりしながら、楽しく歩きます。

公園では、「爆弾ゲーム」「影踏み鬼ごっこ」「ドッジボール」の3種の遊びを保育士が提案します。子どもたちはやりたい遊びをそれぞれに選んで遊び始めました。この遊びだけでなく、自分たちで遊びを作ってリレーごっこや縄跳びをしているグループもあります。遊びの中で、思うようにならずに泣く子がいると、年齢の高い子どもたちが、抱っこをして慰めています。

お昼の食卓は、3歳4歳5歳が各2名ずつの、1テーブル6人になっています。ご飯もおかずも、自分で好きな量を盛り付けて食べる仕組みです。配膳台の前にきちんと順番に並んで、上手に盛り付けることができます。食事中は、大きすぎる声ではなく、楽しい話し声と笑い声があふれて幸せな時間が流れています。

観察2日目の午前中は、専門講師による造形活動の日でした。子どもたちは時間前から、先生の来るのを今か今かと待ちかねている様子でした。

先生と子どもたちのあいさつのポーズを元気に決めて、造形の時間が始まります。

この日の製作はクリスマスの飾りです。色紙でツリーとサンタクロースを、紙コップで家を作ります。家には電池をつないで灯りがともります。紙コップの内側に絵を描いた紙を入れて豆電球につなぐと、優しい色あいの絵が灯りを通して浮かび上がりました。大喜びの子どもたちです。みんな、先生の注意や説明を落ち着いてきちんと聞くことができます。

まとめ

子どもたちは、いろいろなことを自分たちで相談して自分たちで決めることができるように成長をしています。各クラスとも、子どもたちは明るい笑顔とともに、おだやかな落ち着いた表情をみせています。子ども一人ひとりが保育士から大切にされ、年長の子も子どもたちが年少の子もたちを極めて自然に気遣う姿勢が観察により伝わりました。

また、保育にかかわる職員全員の意識が「子どもの主体性を最優先にした保育の実践」に、向いています。さらに保育業務の職員間の連携は適切かつ早さを持って行われています。こうした、職員の保育への意識の高さと熱心さが、子どもたちの明るさ、情緒の安定、豊かな表現力に表れているようです。

第三者評価を受けて

今回の審査にあたり、こども達の自主性・主体性を重んじる保育に、高い評価をいただきました。

私達は日々、子ども達のやる気や笑顔を引き出すため、一人ひとりと丁寧に関わり成長を促しています。IT化が進み、人とのコミュニケーションの低下や自然との関わりが減少している現在、自己表現していける子に育ててほしいと願って保育させていただいております。遊びを見つけ出し自分で工夫し考え作り出せる子どもの姿が保育園内にあり、一人ひとりが生き生きと輝き遊んでいます。さらに0歳～6歳までの交流を大切にしたら結果、本当の兄弟のように異年齢で関わり遊ぶ姿が見られます。私達が日々行ってきた保育を評価していただいた事を大変嬉しく思っています。

これからもさらに保育の質の向上を目指し、子ども達・保護者様・地域の方々と共に輝いていけるような保育園になるよう努力していきたいと思っております。

にじいろ保育園 釜利谷 園長 佐藤 千景

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>



特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>
